入浴介助マニュアル

〔株式会社●●〕

〔〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地◯〕

〔℡ □□ - □□□ - □□□〕

来 歴 管 理 表

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 版数 | 日 付 | 来　　歴 | 承認 | 審議 | 立案 |
| 0 | 2020.3.1 | 新規制定 |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ＜入浴による危険性＞ |  |  |
| ・転倒 ・転倒　・血圧変動　・疲労　・のぼせ　・湯冷め　・火傷　・溺れる |
| ●一般浴 |  |  |  |  |  |  |
| ＜準備する物＞ |  |  |  |  |  |
| 　　着替え、バスタオル、タオル、アカスリ、ガーゼなど洗うもの、石鹸、シャンプー、リンス、シャンプーハット、ブラシ、　　ドライヤー、シャワーチェア、マット、温度計、化粧品（クリームなど） |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 手順・確認事項 | 留意事項 |
| 着替えを準備 | 本人の好みをきちんと確認する。 |
| 季節感、色の組み合わせを考慮する。 |
| 暑さ、寒さに応じたもの。（マヒがある場合、程度によっては前開きのもの） |
|
| 浴室の環境整備 | 準備する物が浴室内に揃っているか。 |
| 室温、湯温の確認。（浴室、脱衣所の温度差がないようにする。湯温の適温は38℃～41℃程度） |
|
| 身体状況のチェック | 前日および夜間の身体状況の把握。 |
| 顔色、表情その他全身状態の変化の確認。（必要があれば検温、血圧測定し、医療との連携を取る） |
|
| 食事摂取、服薬の確認。（食事の直後や空腹時、服薬直後は避ける） |
|
| 入浴の前後に水分の補給をする。 |
| 排泄確認の上、入浴する前にトイレ誘導をする。 |
| 入浴後はクリームなどで保湿し皮膚を守る。（湿疹・床ずれの発生を確認）化粧品類は本人の希望を聞く。 |
|
| 湯冷めしないように衣類や布団など掛け物に注意する。 |
|  |  |  |  |  |  |  |
| ●機械浴 |  |  |  |  |  |  |
| ＜準備する物＞ |  |  |  |  |  |
| 　　ストレッチャー（敷くタオルケット、掛け物）、着替え、バスタオル、タオル、アカスリ、ガーゼなど洗うもの、 石鹸、　　シャンプー、リンス、シャンプーハット、ブラシ、ドライヤー、化粧品  |
| 手順・確認事項 | 留意事項 |
| 入浴することを理解してもらう | 入浴することを伝える。本人の意思をきちんと確認する。 |
| 脱衣所へ移動する | ストレッチャーへの移動時、頭や手足をぶつけない。 |
| ストレッチャーでの移動は進行方向へ足を向ける。 |
| 室温、湯温の確認。（浴室、脱衣所の温度差がないようにする） |
| 衣類を脱ぐ | いきなり脱がし始めず、脱ぐことを説明する。 |
| 自分でできるところはしていただく。 |
| マヒがある場合は健側から脱ぐ。 |
| 脱いだらすぐ体をタオルで覆う。 |
| 脱いだ衣類は床に置いたりせず、すぐランドリーボックスに入れるなど片付ける。ポケットの中などを確認。 |
|
| 機械浴用ストレッチャーへ移動 | ストレッチャーがぬれていればきちんと拭く。 |
| ストレッチャーのストッパーがかかっているか確認。 |
| 移動する前に「動きますよ」など声かけをする。 |
| 安全ベルトが濡れて冷たいようならタオルをあてる。 |
| 身体を洗う | 声をかけて手足（健側）にシャワーをかけ、湯加減を聴く。（このまま洗うか、湯につかるかを聞く） |
|
| 衣類を着る | おむつをつける、パンツをはくなど早く陰部を隠す。マヒ側の手などに十分注意。 |
|
| 移動用ストレッチャーに移る | ストレッチャーのストッパーがかかっているか確認。 |
| 髪を乾かす | ドライヤーを近づけすぎたり、温度が高くならないように注意。人によってはマッサージをする。 |
|
| 化粧品（クリームなど）をつける | 入浴後はクリームなどで保湿し皮膚を守る。（湿疹・床ずれの発生を確認）化粧品類は本人の希望を聞く。 |
|
| 居室に戻る | ストレッチャーへの移動時、頭や手足をぶつけない。 |
| 湯冷めしないように衣類や布団など掛け物に注意する。 |
| 水分補給する | 飲み物は数種類用意して選んでもらうとよい。全身状態の観察 。 |